

令和 7 年 第 1 回 定 例 会 総 体 質 問 通 告 事 項

	檀 上 政 樹 議 員 (市 民 連 合)	質問方式: 一問一答方式
3 月 5 日	1 国家予算と地方財政計画について <u>国の令和 7 年度予算では、地方創生の推進へ向けて地方創生交付金を 2,000 億円と従来の倍の額を投じている。本市ではこの交付金を活用し、「若者・女性に選ばれる地方」、人口減対策に向けたまちづくり事業に取り組む考えはあるか。新年度予算に反映されているのであれば、どのような事業か</u> 2 令和 7 年度予算について <u>本市令和 7 年度予算では、一般会計が 675 億円で過去最大、市債発行額は大型建設事業の影響もあり、前年度に比べ 10 億 4,780 万円 (25.4%) 増となっている。旧合併特例事業債は、令和 7 年度をもって発行終了、交付税措置の高い有利な市債がなくなるが、市債発行の今後の見通しはどうなっているか。昨年の決算特別委員会では市債残高の減少傾向が続くと言われていたが、改めてその根拠は。市の財政を圧迫するような財政計画になっていないか。</u> <u>また、経常収支比率においては令和 6 年度見込みで 98.3%、令和 7 年度見通しは 96%となっている。2.3%改善見通しとも言っても高い状態が続いているが、財政構造の弾力性は失われていないか。今後の見通しは</u> 3 今後の尾道市について <u>本市は令和 7 年度に 2 市 3 町合併 20 周年の節目の年を迎える。しかしこの 20 年で社会情勢は大きく変化し、予想を上回るスピードでの人口減少と少子化の進行などにより、行財政にも大きな影響を与えている。市長は今後 20 年、30 年先といった、長期的な視点から尾道をどのような「まち」にしようとお考えか</u> 4 「豊かな心の育成」について (1) <u>「市独自に校内教育支援センターを設置する」と述べているが、具体的な取り組みは</u> (2) <u>尾道市内小中学校の不登校児童生徒数(2024 年 11 月調査)では、小学生 151 名、中学生 215 名合計 366 名であり、共に過去最高となっている。この現状をどう分析し、どのような具体的対策をしていくのか</u>	

3 月 5 日	(3) <u>教職員の勤務環境の改善、とりわけ長時間労働の是正が最大の課題である。課題解決に向けて、どのような具体的施策をしていくのか</u> 5 第3次尾道市男女共同参画基本計画策定事業について 令和7年度の新規事業に、第3次尾道市男女共同参画基本計画策定事業がある。本市で、<u>令和4年から実施していた第2次尾道市男女共同参画基本計画において目標達成されたのか。課題はあるか。</u> 第3次基本計画では、<u>第2次基本計画での改善点を生かし、実際に、ジェンダーギャップ解消に重点を置いての計画なのか、それとも、尾道市の転出超過は20歳代が多く、なぜ出ていくのか、それを食い止めるための方法も考えながらの指針にしていきたいという強い思いで策定されるのか</u> 6 有害鳥獣被害対策について 令和6年度から広島県鳥獣対策等地域支援機構（通称：tegos）が発足、本市も参画しているが、この「tegos」の事業内容と、<u>令和6年度の実施状況・成果をお答えください。また、令和7年度から参加する近隣市町とはどのように連携していくのか</u> 7 被爆80周年について 新年度予算（案）が示され、今年合併20年を迎える尾道市であるが、本市では広島県内にある自治体として、「被爆80周年」<u>に関し何か取り組みを計画されているのか。</u> <u>また、広島県や広島市などと共に行う取り組み等の計画はあるか</u>
---	---